

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊明市地域公共交通活性化協議会

平成28年4月1日設置

フィーダー系統 該当なし

1.協議会が目指す地域公共交通の姿（Plan）

2

【地域特性】

- ・市内に3駅を有する名鉄名古屋本線と前後駅を拠点とする名鉄バスが交通幹線軸を形成
- ・市コミュニティバス「ひまわりバス」が交通支線として市内を網羅的にカバー
- ・名古屋市をはじめ、大府市や刈谷市への流動が多い。

豊明市地域公共交通網形成計画（2017～2021）

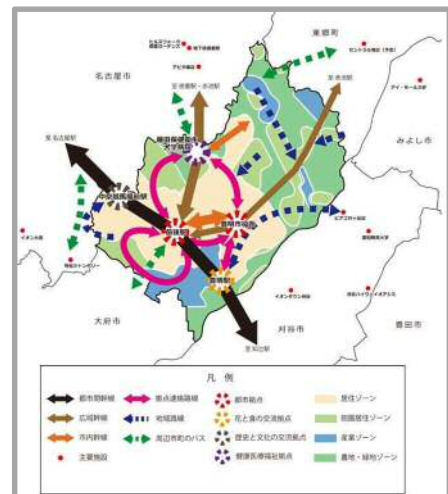
■めざす交通将来像



公共交通が 人と人をつなぐ しあわせのまち

■基本方針

- 1 多様な公共交通が相互に連携し、市内の各拠点相互及び各地域をつなぐ公共交通体系を構築します。
- 2 周辺市町との結びつきを強化し、より密な連携を図る広域的な公共交通ネットワークを形成します。
- 3 戦略的な公共交通施策の展開により、豊明市がめざすまちづくりの実現を図ります。
- 4 わかりやすく、誰もが安心して利用できる公共交通サービスを提供します。
- 5 地域の特性に応じた公共交通の維持活性化に向け、多様な主体の連携・協働による地域公共交通を育む仕組みを構築します。

▼公共交通ネットワークイメージ



実施事業	概要	実績等
ひまわりバス 路線再編 【基本方針1】 【基本方針3】	<ul style="list-style-type: none"> 市内の拠点を密に循環する路線に再編 (H31.4) 路線再編に際し、市民及び利用者との対話を重視 	<ul style="list-style-type: none"> バス路線を考えるワークショップ開催 (H30.5) バス路線に関する意見交換会の開催 (H30.7) 「ひまわりバス路線再編計画」策定 (H31.1) 新路線説明会を開催予定 (H31.1)
公共交通利用 促進 【基本方針4】	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に触れ、考える機会の創出  	<ul style="list-style-type: none"> 住民と協働して地域時刻表を作成 (H29.6・7) 名鉄バスを使った、小学校での交通安全教室を開催 (H30.5) ※市内9校中平成30年度は3校実施 市広報を利用した情報発信 (各種割引制度、ひまわりバスコラム) (通年) 公共交通マップ作成のワークショップ開催 (H30.11) 公共交通マップの作成及び全戸配布予定 (H31.2)

は地域公共交通確保維持改善事業 (計画推進) 対象事業

実施事業	概要	実績等
地域路線導入に 向けた取組み 【基本方針5】	<ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズに応じた公共交通の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会を対象に計50回以上の意見交換会を開催 (通年) 民間との連携による予約型乗合交通の無償での実証実験開始 (H30.7~)
広域公共交通網 の形成に向けた 検討(尾三地区) 【基本方針2】	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より、尾三地区広域公共交通網の検討に向けて、長久手市、日進市、みよし市、東郷町、豊明市で協議会を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度実施の広域交通アンケート結果を踏まえ、交通事業者と路線検討開始 (通年) 名城大学工学部との共同事業として、コミュニティバスの国際的なオープンデータを作成 (H30.11) Googleマップ上における尾三市町のコミュニティバスの乗り換え案内を開始 (H30.12)
広域公共交通網 の形成に向けた 検討(大府市) 【基本方針2】	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動ニーズに対応した交通網の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 大府市境の市道開通に伴い、前後駅への大府市コミュニティバスの乗り入れを開始予定 (H31.10~)

【豊明市地域公共交通網形成計画の評価の考え方】

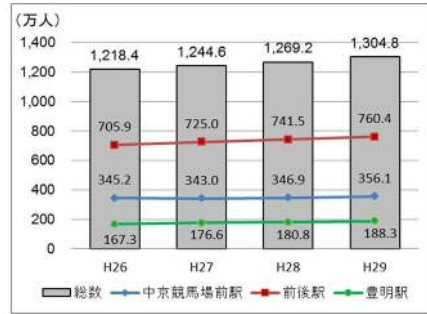
- ・ 地域公共交通網形成計画の評価は、豊明市地域公共交通活性化協議会において審議
- ・ 各種公共交通利用者の評価は、交通事業者からの実績報告により変化を把握
- ・ 基準が未達成の場合は、網形成計画に記載の多様な視点により改善策を検討

地域公共交通網形成計画に定める評価指標に対する評価

- ・ 各種公共交通の評価指標は、過去増加率を元に設定
- ・ 平成30年5月30日の豊明市地域公共交通活性化協議会にて協議

都市間幹線（名古屋鉄道名古屋本線）

評価指標	3 駅で15万人／年 以上の増加		達成
駅名	H28 (万人)	H29 (万人)	増加数(万人)
中京競馬場前駅	346.9	356.1	9.2
前後駅	741.5	760.4	18.9
豊明駅	180.8	188.3	7.5
計	1,269.2	1,304.8	35.6

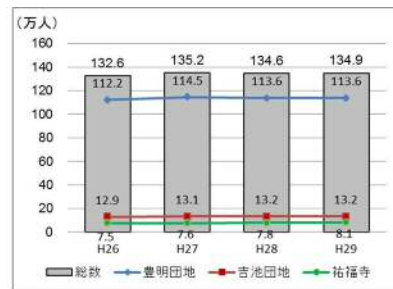


◆目標達成状況についての考察

- ・ 目標を大きく達成。特に定期券利用者の増加が多く見られ、名古屋方面または豊橋方面への通勤、通学の足として利用されている
- ・ 利用者は増加している一方で、市の主要拠点として定めている中京競馬場前駅及び豊明駅の利用増を検討していく必要あり

広域幹線及び市内幹線（名鉄バス）

評価指標	1.3万人／年 以上の増加		未達成
路線名	H28 (万人)	H29 (万人)	増加数(万人)
豊明団地	113.6	113.6	0.0
吉池団地	13.2	13.2	0.0
祐福寺	7.8	8.1	0.3
計	134.6	134.9	0.3

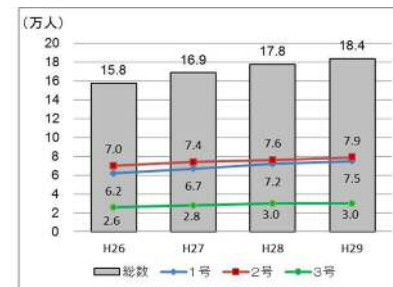


◆目標達成状況についての考察

- ・ 「駅まで」もしくは「駅から」のアクセス手段としてバスが活用されていない
- ・ バス交通環境の改善及び路線、ダイヤの周知が必要

拠点連絡路線（ひまわりバス）


評価指標	1.1万人／年 以上の増加		未達成
路線名	H28 (万人)	H29 (万人)	増加数(万人)
ひまわり1号	7.2	7.5	0.3
ひまわり2号	7.6	7.9	0.3
ひまわり3号	3.0	3.0	0.0
計	17.8	18.4	0.6



◆目標達成状況についての考察

- ・ 1・2号は、路線が複雑で分かりにくい。また、新規利用者へのPR不足
- ・ 3号は、サービス水準が低く、新規利用の開拓が困難

地域公共交通確保維持改善事業(計画推進)に対する評価

実施事業	実績等
地域におけるワークショップの開催 ※交付決定前の実施となつたため、事業対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区（3中学校）単位でワークショップ開催（H30.5） ・地域公共交通網形成計画の説明やひまわりバスの利用促進策の検討などを実施 【参加者の感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・もっと路線をシンプルに。マップも分かりやすく。 ・外出したいと思えるイベントを開催してほしい ・知らないことが多く、市からの情報発信が弱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ワークショップを通して、現路線が抱える課題や地域の利用特性、目的地のニーズ等を把握。ひまわりバス路線再編の参考とした。 </div>
公共交通マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく見やすいマップを市民と一緒に考えるワークショップ開催（H30.11） ・パズル方式でマップを組み立て、必要な情報を取捨選択していく独自の形式で実施 【参加者の感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者のために、主要拠点の乗り場案内は必要 ・素材を組み合わせることで、よりイメージしやすかった <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パズル方式は自分の考えがすぐ形になり参加者から好評。マップはH31.2に全世帯へ配布。 </div>

【課題】	【対応方針】
<名古屋鉄道>P.5 中京競馬場前駅及び豊明駅利用者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ○ひまわりバスの路線再編により、両駅への接続本数増加。また、早朝ダイヤを設定し、通勤・通学時の利用促進を図る（H31.4～） ○マップの配布や啓発チラシによる利用促進（H31.2）
<名鉄バス>P.6 鉄道駅利用者のバス利用	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者間による前後駅及び藤田医科大学病院周辺の渋滞対策の検討（H31.3～） ・前後駅における待合環境の整備（H31.4～） ○マップの配布や啓発チラシによる利用促進（H31.2） ○乗り方教室やお出かけイベントの開催（H31.4～） ○公共交通相互の乗継割引や企画切符の検討（H31年度以降実施予定）
<ひまわりバス>P.6 ひまわりバスの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○ひまわりバス役割や路線再編の方針、戦略を定めた「ひまわりバス路線再編計画」を策定（H31.1） ○路線再編の実施（H31.4～）
<計画推進事業>P.7 公共交通マップの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○マップの全戸配布（H31.2） ○マップを活用した市内ツアーイベントの開催 ○住民との協働による地域時刻表作成の継続（H31年度以降実施予定）

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

豊明市地域公共交通活性化協議会

平成28年4月1日設置

フィーダー系統 該当なし

1.直近の第三者評価の活用・対応状況

10

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
豊明市の公共交通に関する5つの課題に対応した定量的、定性的な方向性を定めてほしい	5つの課題に対する5つの基本方針を定めるとともに、それぞれの方針に対して定量的、定性的な観点から2つの評価指標を設定し、網形成計画に記載	市内の運行事業者が委員となっている公共交通会議において、評価達成に向けた利用促進策を検討し順次実施していく
文化会館発着は利用者ニーズに必ずしも合っていないのではないか（H25年再編当時の考えを抜本的に見直すこと）	ひまわりバス路線再編時に、各種アンケート結果や市民ワークショップなどから、現在の路線における課題を抽出し、市民ニーズにあった路線再編を実施	ひまわりバスの役割や路線再編の方針、戦略を定めた「ひまわりバス路線再編計画」を策定し、新路線で運行（H31.4）
豊明市らしさが見えない。3月の年度末に限らず、市民を含めきちんと議論してほしい	網計形成計画の策定時期をH29.3からH29.8に後ろ倒しし、公共交通会議や地域での説明会等で議論を深めた	—

①ひまわりバスの路線再編

- ・ワークショップや意見交換会を段階を分けて複数回開催し、地域のニーズや現在のひまわりバスにおける課題、利用者からの意見を直接聞く機会を設けた
- ・路線再編の意図や経緯を分かりやすく伝えるため、今後のひまわりバスが担う役割や路線再編の方針、戦略を定めた「ひまわりバス路線再編計画」を策定し公表予定

②広域公共交通網形成に向けた検討

- ・あいち公共交通ビジョンに基づき、尾三地区（長久手市、日進市、みよし市、東郷町、豊明市）の広域公共交通網形成に向け、広域的なバス交通に関する調査を実施
- ・東郷町セントラル開発を見据えた広域路線について、交通事業者との協議を開始
- ・将来的には尾三地区全体での地域公共交通網形成計画策定も協議

②「チョイソコとよあけ」の実証実験開始

- ・既存公共交通を利用できていない高齢者のお出かけ支援と交通不便地域の効率的な移動手段の確保を目的として、民間と連携し、無償での予約型乗合交通の実証実験を開始（H30.7～）
- ・利用者だけではなく、顧客を増やせる商業店舗等からのスポンサー料を獲得することにより運営していくビジネスモデル
- ・既存公共交通との共存・共栄方法を検討し、公共交通全体で利用者を増やす

